

涙のわけ

2018/6/21 乃木坂スクール聴講生 原智代

知志さま、貴重なお時間をありがとうございました。
今日はお話を聴いていて何度も涙が出ました。
汗を拭くふりをして、何度も涙をぬぐいました。

母子家庭でここまでやって来られたのは、回りの方々が関わってくれたお陰と言う感謝の涙。
フリーターをしている3人の子どもたちに『早く正社員になりなさい!』と言う、問題解決だけを目指した、伴走もへったくれもない私の後悔の涙。
『小さいときに、本当にいろんなところに連れてってくれたよね。お金はない、情報もネットない中でさ』と言ってくれている子どもたちの言葉を思い出しての涙。

公開講義の前のゼミの時間から漏れ聞こえた『私たちはもう救われて愛されているんです。救われて愛されているからキリスト者になれるんです。』と言う暖かい言葉に涙。(家族の中で私だけクリスチャンです)
『あなたの生きる意味は何ですか?』と言う投げ掛けられた言葉に、私は子どもや家族、友人達と一緒に生きる為にここにいるのだと言う安堵の涙。

私は、保育の世界、認知症介護の世界、レクリエーションの世界...色々関わっているけれど、そんな大切な事にも気づかずに来ました。
生きている事に意味がある!
眼を開かせて下さいました。
シンプルだけど、なんて力強い言葉でしょう。ありがとうございます。
私の生きる力になる言葉です。
感謝、感謝、感謝です!